



自衛官ってどんな人達？



航空自衛隊の役割

航空自衛隊は、航空機などによる侵略に対して、主として空において行動し、わが国の防衛にあたります。

また、平時から警戒監視態勢をとり、侵略を未然に防止しています。さらに、災害発生時の捜索救難などのほか、国際平和協力活動においては、航空機による人員、物資等の輸送を行います。

航空自衛隊の機能

航空自衛隊は、任務達成のために航空総隊、航空支援集団、航空教育集団、航空開発実験集団、補給本部の5つの機能別メジャーコマンドに分かれています。

このうち航空総隊が主たる防空機能を有しており、主な組織には「戦闘機部隊」「警戒管制部隊」「高射部隊」があります。

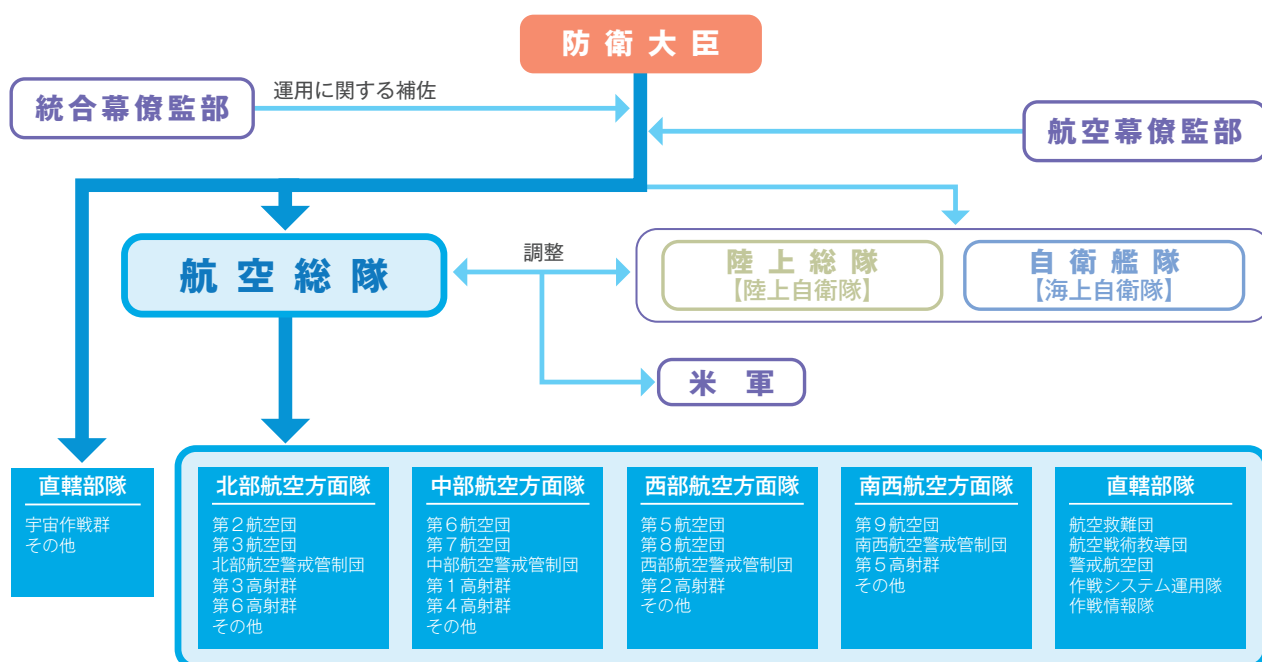
航空総隊の任務

防衛省・自衛隊ホームページより

航空総隊は、警戒管制レーダーや早期警戒管制機(AWACS)などによりわが国周辺を常時警戒監視し、領空侵犯のおそれのある航空機を発見した場合、スクランブル機を発進させ状況を確認し領空を侵犯させないための行動をとっています。さらに戦闘機は、着上陸侵攻しようとする艦船や地上部隊の阻止などにも用いられます。

また、自動警戒管制システム(JADGE)により、イーグリス艦(上層迎撃)とペトリオットPAC-3(下層迎撃)を連携して効果的に弾道ミサイル攻撃などに対応するための多層防衛を基本とした弾道ミサイル防衛態勢をとっています。

他に、救難機による事故航空機の搭乗員の捜索、救助および輸送機による人員および装備品等の航空輸送を実施しています。



小牧基地



航空自衛隊小牧基地は日本列島のほぼ中央、東海エリア有数の大都市である名古屋の北側に位置し、県営名古屋空港に隣接する形で所在しています。

その立地から主に航空自衛隊における航空輸送や救難機の整備、自衛隊内における管制官の養成など各種教育の任務を担っています。

所属部隊

第1輸送航空隊

DW25取材部隊

航空救難団整備群

救難教育隊

DW25取材部隊

小牧管制隊

DW25取材部隊

小牧気象隊

DW25取材部隊

航空機動衛生隊

DW25取材部隊

第5術科学校

DW25取材部隊

小牧地方警務隊

DW25取材部隊



広報担当の紹介

小牧基地を多くの方に理解していただけるよう、小牧基地公式ホームページやSNS等で様々な情報を発信しています。

特に公式XやInstagramに力を入れ、幅広い世代に向け、航空自衛隊や小牧基地を紹介しています。

小牧基地に少しでも関心を持っていただけたら嬉しいです。

皆様もこの機会に小牧基地のフォロワーになってみませんか。



写真左から

3等空尉

原田 敦

3等空佐

長野 博文

1等空曹

松浦 義衛

空曹長

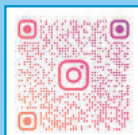
林 真一



ホームページ



X



instagram



facebook

第1輸送航空隊



2等空尉

飛行群 第401飛行隊
松岡 俊来 30歳

職 名 航法
採用種目 一般曹候補生
出身 佐賀県(武雄高校)

私は両親が陸上自衛官でした。両親の姿に憧れを抱く一方で航空機に携わりたい気持ちが大きく、航空自衛隊を希望しました。現在は輸送機のC-130Hのナビゲーターとして、飛行ルートの選定、速度や高度の助言に務めています。操縦士との連携は、常に冷静で公正な判断を下すことが求められます。このため、訓練時以外でも積極的なコミュニケーションが重要視されます。幹部としての知識の不足を痛感する毎日で、空回りする日々を送ったことも。それでも自衛隊はチームで動く組織です。仲間と肩を並べて大きな目標を達成したときは、自分の存在意義を強く感じられ、この仕事を選んで本当に良かったと思いました。目標は国際的な交流に従事すること。英会話を学びつつ、目の前にある職務を全うします。



3等空曹

整備補給群 整備隊
大石 愛梨 28歳

職 名 補給
採用種目 一般曹候補生
出身 北海道(八戸学院大学)

父、姉、兄が自衛官だったこともあり、将来の進路の候補に入っていました。決定打になったのは東日本大震災。テレビに映る隊員の活躍に心を打たれて入隊を決意しました。私が選択した補給という職務は、航空機を整備する工具などの大きいものから文房具まで、幅広い物品を取り扱っています。一般の人には目に触れることのない職務ですが、隊員全員に関与する大事な業務なので、日々やり甲斐を感じながら仕事に従事しています。そして一番の魅力は、結婚や出産などのライフイベントで働くことを諦めてしまいがちな働く女性にとって、とても働きやすい環境であることです。人生も仕事も楽しめるこの職場を誇りに、定年まで勤め上げることが将来の夢。同じ夢を抱く女性隊員の入隊をお待ちしております。



3等空曹

基地業務群 施設隊 消防小隊
伊賀上 航 25歳

職 名 消防員
採用種目 自衛官候補生
出身 静岡県(浜松東高校)

父の背中を追って航空自衛官を目指しました。入隊してから消防に興味を抱き、この職務を選びました。消防は航空機の火災対処だけでなく、基地内の火災対処や消防設備の維持や防火教育など、火災にまつわる全般業務を担います。数々の訓練や新しい知識の習得、技能を磨き続けることで、いかなる状況でも対処できるように努めています。入隊当初は共同生活で苦労したこともあり、一時期は辞めたいと思い詰めてしまったことも。そんなときに相談に乗ってくれたのは部隊の先輩でした。今では生活力も身につけて、充実感のある日々を過ごしています。今後は自分が先輩となって、後輩を指導する立場になります。かつて先輩が親身になって自分に寄り添ってくれたように、後輩に慕われる隊員を目指します。



救難教育隊



3等空曹

教育班
前原 拓弥 31歳

職 名 救難員
採用種目 自衛官候補生
出身 大阪府(阪南大学高校)

人命救助に携わる仕事を探していたところ、航空自衛隊に救難員なる職種があることを知り、現在に至ります。救難員は、環境に応じた救助方法を瞬時に選択する判断力と冷静さが求められます。同時に陸からでは立ち入ることのできない場所への移動になるため、訓練内容は思っていた以上に過酷でハード。それでも救助者から感謝の言葉をかけられたときは、この仕事を選んで間違いなかったと思ったものです。現在は教育者として学生に教える立場ですが、かつての現場で経験した知識を踏まえ、的確に指導するよう心がけています。訓練内容で潜水があるのは誤算でしたが、それも今思えば良い経験。先輩方から受け継がれた技術を後輩に継承して、定年まで救難員として勤務できるよう努めます。



小牧管制隊

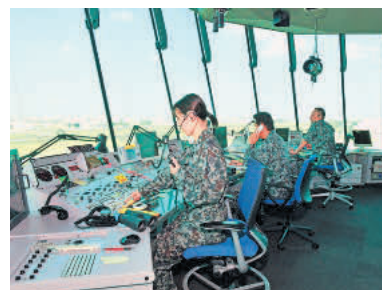


3等空曹

野中 由紀 27歳

職 名 航空管制
採用種目 一般曹候補生
出身 広島県(福山明玉台高校)

自衛隊といえば体力自慢が集う集団。学生時代にスポーツをしていたため、この技能が存分に発揮できると思い、入隊を選択しました。飛行機好きで航空自衛隊を選んだこともあり、現在は航空管制官として勤務しています。空の交通整理のような役割で、航空機に対して必要な指示、誘導などを行います。少しの油断が大きな危険を招くため、細かな指示が求められる現場。さらに小牧基地の上空は民間機の往来も多く、航空管制業務は多岐にわたります。日々の業務に追いつくだけでも大変ですが、地元を離れたことのない私にとって、さまざまな地域を訪れるこの仕事にとっても満足しています。一人前の管制官になるためには資格取得が最低条件なので、早々に試験を突破させたい。それが現在の目標です。



航空気象群



2等空尉

小牧気象隊
宇井 佐和子 25歳

職 名 気象
採用種目 一般幹部候補生
出身 愛知県(愛知教育大学)

教師の夢を叶えるために大学進学したものの、教育実習で別の職にも興味を持つようになりました。そこで出会ったのが、航空自衛隊の気象という職種。これまで学んできたことが活かせる場所と思い、すぐさま入隊を決めました。現在は飛行場で気象予報を行う毎日。一般的な生活気象とは異なり、航空機が安全に運航するためには風や視程、雲の高さも細かく予報をします。私たちの予報次第では乗組員の生命を左右させてしまうことも。緊張感のある現場に遭遇することもあります。とてもやり甲斐のある仕事です。今後も気象の知識をより一層高めて、臨機応変の対処ができる幹部を目指します。夢は世界の航空部隊と自分の言葉で交渉すること。その日を迎えるために、今から英語の勉強に励みます！



航空機動衛生隊



1等空尉

三谷 爽 32歳

職 名 医官
採用種目 防衛医科大学校
出身 東京都(豊島岡女子学園高校)

幼い頃から医者を目指し、さまざまな大学を検討した中で防衛医科大学校を選択しました。現在の所属は、国内唯一の重症患者の固定翼機での長距離搬送を行う部隊。機動衛生ユニットという医療用コンテナを使用し、機内でも高度の医療を行うことができます。災害派遣要請を受けて民間の重症患者の長距離搬送も行っています。部隊では任務に向けた訓練等を実施しつつ、医師としての技術の維持と向上のため週2日は部外病院で研修しています。部隊と部外を行き交うため、当初は隊員との接し方に悩むこともありましたが、それでもけがで職務を離れた隊員が復帰した姿を目にしたときは自身の励みになりました。今後もスキルを磨きつつ、自衛隊内の衛生職域の発展に携われるように努力を重ねていきます。



第5術科学校



3等空佐

第1教育部
可成 優 45歳

職 名 教育第2科1班長(兵器管制[空曹時代は航空機エンジン整備員])
採用種目 一般曹候補生
出身 鳥取県(県立米子東高校)

父は航空自衛隊の操縦士。父の仕事に憧れてこの世界に飛び込みました。教育隊は一昨年から所属しており、以前は現役の兵器管制として領空の監視、ミサイルなどの早期発見、戦闘機の誘導を行っていました。勤務は24時間体制で、あらゆる場面での管制が求められます。常に新たな技術が導入される職種のため、基本的な扱い方に加え、現場クラスで効率的に使いこなせる指導を心がけています。実は、当初は父と同じ操縦士を希望していたんです。残念ながら望みを叶えることができませんでしたが、入隊後には充足感を得られる職種がたくさんあることを知りました。この仕事の素晴らしさ、そして必然性を広めるために、今後は募集活動にも積極的に参加して、自衛官の理解を深めてもらいたいと考えています。



小牧地方警務隊



空士長

伊達 瑠斗 20歳

職 名 警務
採用種目 一般曹候補生
出身 北海道(平岡高校)

進路で悩んでいる私を見かね、両親から自衛隊入隊を勧められました。復興支援などの前方支援しか把握していなかった中で、私が選んだのは警務という職務です。部隊内の犯罪捜査や被疑者の逮捕、規律違反の防止がメインで、言い換えるなら部隊内警察。階級が上がると国内外の高官の警護や政府専用機、在外邦人輸送などにも携わります。この職に就いて気づいたことは、縁の下での力持ちとして行動することの喜びと充足感です。自衛官は自ら職種を選ぶ一方で、適性検査によって職種の選別がなされます。一般企業では自分の適性を理解する機会も少ないと思うので、この制度はとても理にかなっていると改めて実感させられました。正義感のある立派な警務官になるために、一步一步着実に前進していきたいです。



自衛隊愛知地方協力本部

愛知地方協力本部は、愛知県における自衛隊の「入口」・「出口」・「窓口」の3つの仕事を担っております。1つ目は自衛官・予備自衛官等の採用及び試験の「入口」、2つ目は退職自衛官の企業等への就職援護業務の「出口」、最後の3つ目は自衛隊の広報活動である「窓口」です。これらを通じて県民の皆様と自衛隊との架け橋を担っております。

愛知県は全国で4番目に人口が多く、大学・高校・専門学校の数もそれぞれ全国トップクラスです。近年の厳しい募集環境において、愛知地本が担う職責の重さを隊員一同が自覚し、誠心誠意各種業務に取り組んでおります。

最近では、大学生を対象としたインターンシップに力を入れており、陸海空自衛隊での参加体験型のイベントを多数行い、グループ討議も実施しています。また、全国的にも数少ない広報ルームがあり、イベントも開催する等、少しでも自衛隊を身近に感じてもらえる取り組みを行っております。



①インターンシップ (ボルダリング体験) ②インターンシップ (グループ討議) ③広報ルームイベント (組み紐体験) ④広報ルームイベント (現役パイロットによる講話)

DATA

自衛隊愛知地方協力本部

■ 住所 愛知県名古屋市市中川区松重町3-41

■ 電話 052-331-6267

■ HP <https://www.mod.go.jp/pco/aichi>

■ X https://x.com/aichi_pco

■ Instagram https://www.instagram.com/aichi_pco

広報官の声

『百聞は一見に如かず』

2等空曹 山崎 好洋 48歳

みなさま、こんにちは。私は愛知地方協力本部小牧分駐所にて小牧市を担当する広報官です。私たちの事務所は航空自衛隊小牧基地内にあり、担当するエリアは7市3町と広域になります。初めに私が担当する小牧市の紹介をします。1955年に一町二村が合併し小牧市が誕生しました。濃尾平野の北東部に位置し、「日本唯一のお乳のお寺」といわれる閭々観音と日本三大奇祭のひとつ「豊年祭」で有名な田縣神社もあります。さらに歴史を遡ると1563年に織田信長公が清須城より居城を小牧山城へと移しました。現在その小牧山は『小牧市民のランドマーク』として親しまれているほか、小牧市内には、国内有数の企業も多く、歴史と近代が融合した魅力的な街です。

次に私自身の紹介をします。広報官として7年目の勤務に入りましたが、毎年新たな発見と出会いに恵まれ、入隊へのお手伝いをさせていただいています。私は高校生から自衛官になるまで国外で生活する機会があり、様々な経験をする事ができ

ました。『百聞は一見に如かず』。何事もまずは一步を踏み出すことをモットーに生活しています。『記録よりも記憶』と耳にしますが、両方を兼ねる人物に憧れます。昨今、世界で活躍するスポーツ選手が百年を超える歴史に「新記録」の名を刻み、未だ楽しみながら目標に向け一心不乱に打ち込む姿は感動を覚えます。私が好きなスポーツはアメフトです。

愛知県にお越しの際は、ぜひ小牧分駐所にもお立ち寄りください。

